

日本語起源の英語

—— CODの場合 ——

轟 義 昭

はじめに

The Concise Oxford Dictionary of Current English (通称 COD) において日本語起源の英語を調査しようと考えたのは、南日本新聞(1995年7月30日付)に掲載された記事に関心を寄せ、記事を大事に保存していたからであった。その一部を引用しよう。

英国のベストセラーの一つコンサイス・オックスフォード辞典が五年ぶりに改訂され27日発売された。・・・オックスフォード大学出版局の「コンサイス」は英国最大の発行部数を誇る辞典で、英語圏住民には大きな影響力を持っている。・・・辞典編さん責任者のトンプソン編集長は、新語を選ぶ作業について新聞などの言葉の使用例約一億件を集めたデータベースから単語を引き出し「定着したと認められた単語だけを選択した」と述べた。編集長に認定された日本語起源の単語にはガイジン、ローニン、ヤキトリ、ミソなどがある。93年9月に改訂版が出た「ショーター」辞典が日本語起源の単語335を掲載したのに比べると、収録語数が約三分の一の「コンサイス」は92語と厳選されている。

この記事を読んで、COD第九版に掲載された92語とはどのような単語なのかを確かめたいという衝動に駆られていたことは間違いない。折しも平成八年度から英語学講読IIを教える機会に恵まれ、本格的な調査に乗り出した次第である。調査は日本語起源の英語の実態調査とその定義内容の吟味からなる。具体的に言えば、前者はCOD第九版からその単語をピックアップし、それが第何版で新語として採用されているかの調査であり、後者は定義に用いられた語句から改訂者・編集者の意図を探る調査である。

1. 現段階でCODは第九版まで出版されているので、調査対象は初版から第九版までとなる。まず、各版の出版年代と辞典編纂の責任者を明記しておこう。特に、責任者(編集長あるいは改訂者)は前述の記事に従えば新語の選択に大いなる権限があるようなので重要である。

初版 (1911年)	Adapted by H.W. Fowler and H.G. Fowler
第二版 (1929年)	Revised by H.W. Fowler
第三版 (1934年)	Revised by H.W. Fowler and H.G. Le Mesurier
第四版 (1951年)	Revised by E. McIntosh
第五版 (1964年)	Revised by E. McIntosh
第六版 (1976年)	Edited by J.B. Sykes
第七版 (1982年)	Edited by J.B. Sykes
第八版 (1990年)	Edited by R.E. Allen

2. 第九版における日本語起源の英語の実態を報告しよう。調査は原始的でCODを丹念にチェックして該当する単語をピックアップし、*The New Shorter Oxford English Dictionary* (通称SOD) で選び出しておいた単語を頼りに漏れた語がないかどうか再調査して92語を選定した。その単語は以下の通りである (どのような語であるか想像できるように対応する日本語を付している)。

adzuki	小豆	ju-jitsu	柔術	ninjutsu	忍術	shiitake	椎茸
aikido	合気道	kabuki	歌舞伎	Nipponese	日本+ese	Shinto	神道
Arita	有田	kaizen	改善	nisei	二世	shogun	将軍
banzai	万歳	kakemono	掛け物	Noh	能	shubunkin	朱文金
basho	場所	kamikaze	神風	obi	帯	sika	鹿
bonsai	盆栽	kana	仮名	origami	折り紙	soy	醤油
bushido	武士道	kanban	看板	pachinko	パチンコ	sukiyaki	鋤焼
dan	段	kanji	漢字	raku	楽	sumo	相撲
dojo	道場	karaoke	カラオケ	rickshaw	力車	sushi	寿司
futon	蒲団	karate	空手	romaji	ローマ字	tanka	短歌
gaijin	外人	katakana	片仮名	ronin	浪人	tatami	畳
geisha	芸者	kendo	剣道	Roshi	老師	tempura	テンプラ
ginkgo	銀杏	kimono	着物	rotenone	ロテノン	tenno	天皇
go	碁	koan	公案	ryokan	旅館	tofu	豆腐
haiku	俳句	koi	鯉	sake	酒	torii	鳥居
happi	法被	koto	琴	samisen	三味線	tosa	土佐
hara-kiri	腹切	kudzu	葛	samurai	侍	tsunami	津波
hiragana	平仮名	mikado	御門	sashimi	刺身	tycoon	大君
hokku	発句	miso	味噌	satori	悟り	Yagi antenna	八木アンテナ
honcho	班長	moxa	艾	satsuma	薩摩	yakitori	焼き鳥
ikebana	生け花	netsuke	根付	seppuku	切腹	yen	円
judo	柔道	Nikkei index	日経インデックス	shakuhachi	尺八	Zen	禅
judoka	柔道家	ninja	忍者	shiatsu	指圧	zori	草履

このなかで Arita と tosa は地名・旧国名に由来するが、前者はそこで作られる磁器製品、後者は土佐原産の闘犬を指している。Yagi antenna は電気工学者の八木秀次が発明した指向性アンテナを指している。shubunkin と rotenone は『広辞苑』を参照しても日本名を特定できないほど特殊な専門用語で、前者は「黒い斑点があり、長い尾鰭と胸鰭を持つ観賞用金魚」、後者は「 $C_{23}H_{22}O_6$ 、マメ科植物のデリスなどのような熱帯産有毒植物の根から得られ、殺虫剤として用いられる」物質である。興味深い点は SOD には出ない単語 tenno が COD に見られることである。

3. 上記に挙げた日本語起源の英語が第何版で新語として採用されているかを報告しよう。表 I は版ごとの収録状況であり、図 I は表 I に基づいて作成した各版における新語の分布状況である。

表 I 第九版に見られる日本語起源の英語と版ごとの収録状況

9th edition	8th	7th	6th	5th	4th	3rd	2nd	1st	9th edition	8th	7th	6th	5th	4th	3rd	2nd	1st
adzuki, azuki	○	—	—	—	—	—	—	—	ninjutsu	○	—	—	—	—	—	—	—
aikido	○	○	—	—	—	—	—	—	Nipponese	○	—	—	—	—	—	—	—
Arita	○	—	—	—	—	—	—	—	nisei	○	○	○	—	—	—	—	—
banzai	○	○	○	○	○	●	—	—	Noh, No	○	○	○	○	—	—	—	—
basho	—	—	—	—	—	—	—	—	obi	○	○	○	○	○	●	—	—
bonsai	○	○	○	—	—	—	—	—	origami	○	○	○	—	—	—	—	—
bushido	○	○	○	○	○	○	○	—	pachinko	○	○	○	—	—	—	—	—
dan	○	○	○	—	—	—	—	—	raku	○	—	—	—	—	—	—	—
dojo	○	○	○	—	—	—	—	—	rickshaw	○	○	○	○	○	○	○	○
futon	△	—	—	—	—	—	—	—	romaji	○	○	○	—	—	—	—	—
gaijin	—	—	—	—	—	—	—	—	ronin	△	△	△	—	—	—	—	—
geisha	○	○	○	○	○	○	○	○	Roshi	○	—	—	—	—	—	—	—
gingko, ginkgo	○	○	○	○	○	○	○	○	rotenone	○	—	—	—	—	—	—	—
go	○	○	○	—	—	—	—	—	ryokan	○	○	○	—	—	—	—	—
haiku	○	○	○	—	—	—	—	—	sake	○	○	○	○	○	○	○	○
happi	○	○	○	—	—	—	—	—	samisen	○	○	○	○	○	●	—	—
hara-kiri	○	○	○	○	○	○	○	○	samurai	○	○	○	○	○	○	○	○
hiragana	○	○	○	—	—	—	—	—	sashimi	○	○	○	—	—	—	—	—
hokku	○	○	○	—	—	—	—	—	satori	○	○	○	—	—	—	—	—
honcho	○	—	—	—	—	—	—	—	satsuma	○	○	○	△	△	△	△	△
ikebana	○	○	○	—	—	—	—	—	seppuku	○	○	○	—	—	—	—	—
judo	○	○	○	○	—	—	—	—	shakuhachi	○	—	—	—	—	—	—	—
judoka	—	○	○	—	—	—	—	—	shiatsu	○	—	—	—	—	—	—	—
ju-jitsu	○	○	○	○	○	○	○	○	shiitake	—	—	—	—	—	—	—	—
kabuki	○	○	○	—	—	—	—	—	Shinto	○	○	○	○	○	○	○	○
kaizen	—	—	—	—	—	—	—	—	shogun	○	○	○	○	○	○	○	○
kakemono	○	○	○	○	○	●	—	—	shubunkin	—	—	—	—	—	—	—	—
kamikaze	○	△	△	—	—	—	—	—	sika	○	○	○	—	—	—	—	—
kana	○	○	○	—	—	—	—	—	soy	○	○	○	○	○	○	○	○
kanban	—	—	—	—	—	—	—	—	sukiyaki	○	○	○	—	—	—	—	—
kanji	○	○	○	—	—	—	—	—	sumo	○	○	○	—	—	—	—	—
karaoke	○	—	—	—	—	—	—	—	sushi	○	○	○	—	—	—	—	—
karate	○	○	○	—	—	—	—	—	tanka	○	○	○	—	—	—	—	—
katakana	○	○	○	—	—	—	—	—	tatami	—	○	○	—	—	—	—	—
kendo	○	○	—	—	—	—	—	—	tempura	○	○	○	—	—	—	—	—
kimono	○	○	○	○	○	●	—	—	tenno	○	○	—	—	—	—	—	—
koan	○	○	○	—	—	—	—	—	tofu	○	—	—	—	—	—	—	—
koi	—	—	—	—	—	—	—	—	torii	○	○	○	○	○	●	—	—
koto	○	○	○	—	—	—	—	—	tosa	—	—	—	—	—	—	—	—
kudzu	○	—	—	—	—	—	—	—	tsunami	○	○	○	○	—	—	—	—
mikado	○	○	○	○	○	○	○	○	tycoon	○	○	○	○	○	○	○	○
miso	—	—	—	—	—	—	—	—	Yagi antenna	—	—	—	—	—	—	—	—
moxa	○	○	○	○	○	○	○	○	yakitori	—	—	—	—	—	—	—	—
netsuke	○	○	○	○	○	○	○	—	yen	○	○	○	○	○	○	○	○
Nikkei index	—	—	—	—	—	—	—	—	Zen	○	○	○	—	—	—	—	—
ninja	○	—	—	—	—	—	—	—	zori	○	○	○	—	—	—	—	—

* ju-jitsuには ju-jutsu, jiu-jitsuの綴りもある

図 I 第九版に基づく新語の分布状況

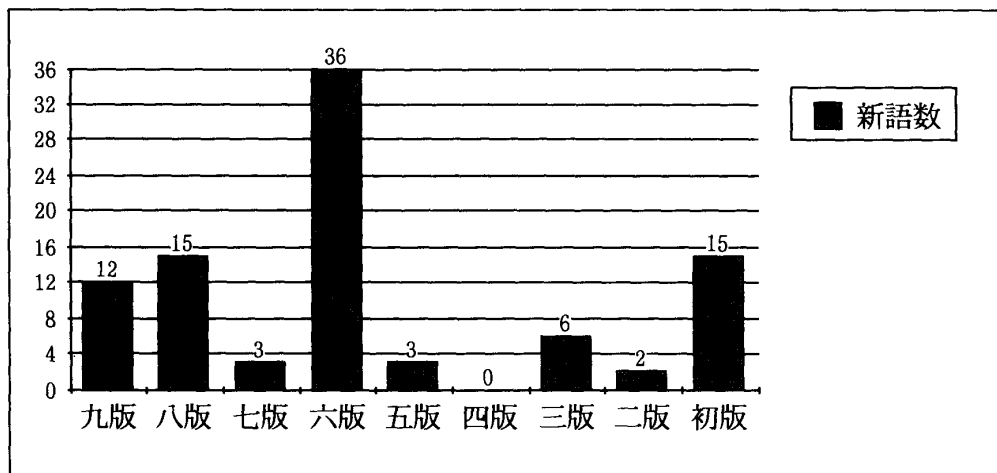


図 I に見られるように、各版に採用された新語数はまちまちである。第六版（1976年）のように36語と選択が多い場合もあれば、第四版（1951年）のように一語も無い場合もある。因みに、第九版に選択された日本語起源の英語は basho, gaijin, kaizen, kanban, koi, miso, Nikkei index, shiitake, shubunkin, tosa, Yagi antenna, yakitoriの12語である（南日本新聞はroninを第九版の新語としているようだが、筆者は定義の追加とみなし、その語を新語としていない）。

表 I のなかで banzai, kakemono, kimono, Noh, samisen, torii の6つの語に●印を付けたが、これはそれぞれの語が第三版の Addendaのなかで取り扱われていることを示している。judoでは第四版の欄に－印を付けたが、1954年発行のREPRINTED (with revised Addenda) にはその語がAddendaに掲載されている。またfuton, kamikaze, ronin, satsumaの4語に△印を入れたが、これは定義内容が○印の新しい版とは異なることを意味する。具体的に言うと、futon においては、第八版には見られない定義 2 a type of low wooden sofa bed having such a mattress が第九版に追加されている。kamikaze においては、第六版と第七版には見られない定義 *adj.* 1 of or relating to a kamikaze. 2 reckless, dangerous, potentially self-destructive. が第八版以降付加され、kamikaze に形容詞としての用法が認められるようになっていく。ronin においては、第六版から第八版には見られない定義 2 a Japanese student retaking a university examination が第九版に追加されている。satsuma においては、初版から第五版には見られない定義 Kind of mandarin orange orig. grown in Japan が第六版以降に追加されている。

収録状況を見ると興味深い点がある。judoka と tatami の語に着目すると、双方とも第六版で新語として採用され、第八版で一度消滅しているが、第九版で見事に復活している。言うまでもなく、これは第八版の編者の不注意に他なるまい。

4. 表 I では第九版で調査した日本語起源の英語を拠り所として版を遡り収録状況の実態を示した。だが、SODで選出した英語を各版で丹念に調査したところ、なかには第九版まで継承されずに途中で消滅した単語が13例も見られた。表 I にならって単語とその収録状況を報告しよう。

表Ⅱ 途中で消滅した日本語起源の英語

		9th	8th	7th	6th	5th	4th	3rd	2nd	1st(edition)
daimio, daimyo	大名	—	—	○	○	○	○	○	○	○
eta	穢多	—	—	○	○	—	—	—	—	—
Genro	元老	—	—	—	—	○	○	○	○	—
geta	下駄	—	—	○	○	—	—	—	—	—
gobang	碁盤	—	—	○	○	○	○	○	○	○
habutai	羽二重	—	—	○	○	—	—	—	—	—
jinricksha, jinrikisha	人力車	—	—	○	○	○	○	○	○	○
kago	駕籠	—	—	○	○	○	○	○	○	○
kami	守・神	—	—	—	—	○	○	○	○	○
kiri	桐	—	—	○	○	—	—	—	—	—
Nippon	日本	—	—	○	○	○	○	●	—	—
sen	銭	—	—	—	—	○	○	○	○	○
ukiyo-e	浮世絵	—	—	○	○	—	—	—	—	—

このなかで jinrickshaw は省略形の rickshaw (力車) に吸収されて語源の形で紹介され、Nippon は第八版から Nipponese に転換されたようである。‘Japanese title of governors etc.; divinity, god, in Japanese native religion’ という定義の kami については、後半の意味は kamikaze (神風) の kami (神) の語源との共通性からそこに吸収されて省略されたようであるが、前者の意味する「守」は何処にも反映されずに第六版以降消滅している。

単語の消滅についてはおおよそ3つの共通点が見られる。(1) Genro, kami, sen の三つの単語は第五版までである。(2) daimio, gobang, jinrickshaw, kago, Nippon の五つの単語は第七版までである。(3) eta, geta, habutai, kiri, ukiyo-eの五つの単語は第六版で新語として採用されているが、第七版までの生命に終わっている。言い換えると、(3)は J.B. Sykes (第六版と第七版の同一編者) に認められた語にすぎないということになる。

表Ⅱの結果、13のうちで10の単語が第八版に採用されていないことになるが、語の消滅の実情を第八版の編者R.E. Allenの単なる見落としによるとは断言できない。ここでは、ある編者に認定された新語が必ずしも新しい版で継承されるとは限らない。次の編者の方針次第で消滅することも有り得る事実を我々は留意しておく必要があるだろう。

5. 次に定義に用いられた語句から改訂者・編集者の意図を探ろう。新語の定義は別にして、第九版の編者 D.J. Thompson は 57 の単語において第八版の定義をそのまま援用しているが、23語において第八版の定義内容を微妙に改編している。shiatsu (指圧) と raku (楽) を例に取ろう。

9th edition

shiatsu a kind of therapy of Japanese origin, in which pressure is applied with the thumbs, palms, etc. to certain points of the body.

8th edition

a kind of the therapy of Japanese origin, in which pressure is applied with the fingers to certain points of the body.

raku a kind of Japanese lead-glazed earthenware, primarily for use in the tea ceremony.

a kind of Japanese earthenware, usu. lead-glazed.

身体の壺を押すshiatsu において、第八版では指 fingersを用いるとあるが、第九版では親指 thumbsと手のひら palms などを用いると説明され、楽焼の略である raku において、第九版では「主に茶道で用いられる」という説明が付加されている。細部に至るこのような変更は英語圏住民に日本の文化を明確に伝達しようとする編者の苦心の跡だと想像できる。

良かれ悪しかれ、各版を通して定義内容の変遷に着目すると、このような責任者の心遣いやこだわりが一段と目に付く。sukiyaki (鋤焼き) とsatsuma (薩摩) を例に取ろう。

	9th edition	8th edition	7th edition	6th edition
sukiyaki	a Japanese dish of sliced meat <u>fried rapidly</u> with vegetables and sauce.	a Japanese dish of sliced meat <u>simmered</u> with vegetables and sauce.	a Japanese dish of sliced meat <u>simmered</u> with vegetables and sauce.	a Japanese dish of sliced meat <u>fried</u> with vegetables and sauce.
	9th and 8th eds.	7th and 6th eds.	5th~1st eds.	
satsuma	1 a variety of tangerin originally grown in Japan. 2 cream-coloured Japanese pottery.	1 cream-coloured Japanese pottery. 2 kind of mandarin in orange orig. grown in Japan.		Cream-coloured Japanese pottery

sukiyaki は第六版で新語として採用されている。そこでは fried という語句が用いられるが、第七版で simmered に改められている。第八版ではそのまま援用されているが、第九版では副詞 rapidlyを伴って再び friedに転換されている。「鋤焼き」の説明に用いられた語句 fried とsimmeredではどちらがふさわしいのであろうか。『広辞苑』を参照すると、鋤焼きは「牛・鳥肉などに葱・焼豆腐などを添えて鉄鍋で煮焼きする鍋料理。維新前まだ獣肉食が嫌悪された頃、鋤の上のにせて焼いて食べたからという」とある。『日本語大辞典』には「鳥・獣を豆腐・長ネギなどと共に鉄なべで煮ながらたべる料理。世界的に知られている日本独自の料理」、『大辞林』には「牛肉をネギ・白滝・豆腐などとともに、醤油・砂糖などで調合したたれで煮焼きしながら食べる鍋料理」とある。これらの解説に従うならば、fried (油であげる・炒める・焼く) よりもsimmered (ぐつぐつ煮る) の方が日本の鋤焼きのイメージを英語圏住民に正確に伝達していることになる。この点で我々は定義の一部を改めたSykes (第六版と第七版の编者) のこだわりに理解を示すことができるが、逆にThompson (第九版の编者) がfried の語に戻して「焼く」という意味を強調した心遣いに疑問を抱きたくなる。他方、satsuma は第三版から第七版まで大文字で始まる綴りであるが、この点は別にして、第三版で satsuma ware (薩摩焼) の意味で新語として採用され、第六版からsatsuma orange (温州ミカン) の意味が含まれるようになる。第七版も同じであるが、第八版でミカンの説明が改められ、定義

1と2の項目が入れ替えられている。

定義の変更にはどうも改訂者・編集者の微妙なる思惑が作用しているようであり、研究者(読者)にもその趣旨が読めない場合が多々ある。

6. 現代日本人の「地平」から判断した場合、納得し難い定義が一つある。それは *geisha* (芸者) である。

<i>geisha</i>	9th and 8th eds.	1 a Japanese hostess trained in entertaining men with dance and song. 2 a Japanese prostitute.
	7th ed.	trained Japanese hostess entertaining men with dance and song; Japanese prostitute
	6th ed.	Japanese hostess entertaining men with dance and song; Japanese prostitute.
	5th~1st eds.	Japanese dancing-girl.

geisha は初版から新語として採用され、第五版までは「踊り子」という簡単な説明であった。第六版で定義が「歌や踊りで客を楽しませる女」「娼婦」に改められ、それ以降は同様な内容で継承されている。CODを参照した英語圏住民は、この定義から日本の芸者=娼婦というイメージを抱くことになるだろう。娼婦と言えば、SODが *joro* (女郎) を 'in Japan, a prostitute' と解しているので、さらに英語圏住民は芸者=女郎と同一視するだろう。一体全体どこから芸者=娼婦のような結び付きが生じたのだろうか。『広辞苑』で芸者を引いても、(1) 多芸な人。遊芸に巧みな人。芸達者。(2) 能狂言役者・歌舞伎役者・音曲師・俳諧師など、芸能を職業とするもの。芸能人。(3) たいこもち。幫間。(4) 芸妓のような定義で、芸者に娼婦のような意味は見当たらない。『大辞林』にもそのような意味は見当たらない。『角川 古語大辞典』を参照すると、近世後期(江戸時代)において芸者には江戸芸者、吉原芸者、深川芸者のような区別があり、芸者=女郎のイメージと売色の意味が含まれていたことがわかる。日本人であれば、古語と現代語の意味に一線を画することができるだろうが、CODの定義では芸者=娼婦が現代にまで根を下ろしているとの誤解を英語圏住民に与えかねない。項目2は現代日本人の尺度に合わないような定義である。辞典が改訂される際に a Japanese prostitute in the last part of Edo periodのように改めるか、さもなくば、削除してもらいたい。筆者にはどう見ても継承による悪例としか思えない。

おわりに

前述の南日本新聞の記事によれば、CODの新語は編集長に「定着したと認められた単語だけ」が選択されている。そうであれば、SOD(1993)に掲載された日本語起源の英語は 今後出版されるCOD 第十版の予備軍とも位置付けられる。この分野の研究に役立つように SODに掲載された単語を【資料1】の形で紹介しておこう。

今回は英語圏住民に多大な影響力を持つ「コンサイス」辞典 のなかで日本語起源の英語の実態を調査した。では、日本で出版されている各英和辞典のなかでは日本語起源の英語はどのように取り扱われているだろうか。興味深い課題であるので、地道な調査を要して次回結果を報告したい。

[謝辞]

関西外語大学図書館と龍谷大学深草図書館での調査が出来なかったならば、このような論文が完成することはなかったことでしょう。前者では *COD* 初版 (1911; rpt. Oxford at the Clarendon Press, 1926年), 後者では *COD* 第二版 (Oxford at the Clarendon Press; Maruzen Company Ltd., 1929年) を閲覧できました。両大学図書館に深く謝意を表します。

【資料1】SOD (1993) に見られる日本語起源の英語

adzuki, azuki	小豆	Jomon	縄文	kuzushi	崩し	oshibori	お絞り
aikido	合気道	joro	女郎	kyogen	狂言	O-soto-gari	大外刈り
ama	海女	joruri	浄瑠璃	kyu	級	oyama	女形
amado	雨戸	judo	柔道	magatama	曲玉	pachinko	パチンコ
banzai	万歳	ju-jitsu	柔術	maiko	舞妓	raku	楽
banzuke	番付	kabane	姓	makimono	巻物	ramen	ラーメン
basho	場所	kabuki	歌舞伎	mama-san	ママさん	randori	乱取り
bonsai	盆栽	kago	駕籠	matsu	松	renga	連歌
bugaku	舞楽	kagura	神楽	matsuri	祭	ri	里
Bunraku	文楽	kaizen	改善	Meiji	明治	ricksha	力車
bushido	武士道	kakemono	掛け物	metake	雌竹	rikishi	力士
daimio, daimyo	大名	kaki	柿	miai	見合い	rikka	立花
dairi	内裏	kakke	脚気	Mikado	御門	rin	厘
dan	段	kami	守/神	mikan	蜜柑	Rinzai	臨濟
dojo	道場	kamikaze	神風	mingei	民芸	romaji	ローマ字
dotaku	銅鐸	kana	仮名	miso	味噌	ronin	浪人
emakimono	絵巻物	kanban	看板	mitsumata	三極	Roshi	老師
eta	穢多	kanji	漢字	mochi	餅	ryo	両
fugu	河豚	karaoke	カラオケ	momme	匆	ryokan	旅館
futon	蒲団	karate	空手	mompei	もんぺ	ryu, riu	流
gagaku	雅楽	kata	型	mon	紋	sabi	寂
gaijin	外人	katakana	片仮名	mondo		sai	鋸
geisha	芸者	katana	刀	mondo	問答	sake	酒
Genro	元老	katsuo	鰹	moxa	艾	sakura	桜
geta	下駄	katsura	鬘	mura	村	samisen, shamisen	三味線
ginkgo, gingko	銀杏	kaya	榧	nakodo	仲人	samurai	侍
go	碁	Kempeitai	憲兵隊	Nanga	南画	san	さん
gobang	碁盤	ken	間	narikin	成金	sanpaku	三白
habutai	羽二重	ken	県	Nashiji	梨子地	sansei	三世
haiku	俳句	ken	拳	nembutsu	念仏	sasanqua	山茶花
hakama	袴	kendo	剣道	netsuke	根付	sashimi	刺身
haniwa	埴輪	keyaki	榎	Nikkei	日経	satori	悟り
haori	羽織	ki-mon	鬼門	ninja	忍者	sayonara	さよなら
happi-coat	法被	kimono	着物	ninjutsu	忍術	seiza	正座
harai-goshi	払腰	kiri	桐	nisei	二世	sen	銭
hara-kiri	腹切	kirin	麒麟	nogaku	能楽	sennin	仙人
Heian	平安	koan	公案	Noh	能	sensei	先生
heimin	平民	kobang	小判	nori	海苔	sentoku	宣徳
hibachi	火鉢	koi	鯉	norimon	乗物	seppuku	切腹
hibakusha	被爆者	koi-cha	濃茶	noshi	熨斗	shabu-shabu	しゃぶしゃぶ
hinin	非人	koji	麴	nunchaku	ヌンチャク	shaku	尺
hinoki	檜	kokeshi	小芥子	Obaku	黄檗	shakudo	赤銅
hiragana	平仮名	koku	石	obang	大判	shakuhachi	尺八
hokku	発句	kombu	昆布	obi	帯	shiatsu	指圧
honcho	班長	koniaku	蒟蒻	ofuro	お風呂	shibui	渋い
ikebana	生け花	koro	香炉	o-goshi	大腰	shibuichi	四部一
inro	印籠	kotatsu	炬燵	oiran	花魁	Shihan	師範
ippon	一本	koto	琴	okimono	置物	shiitake	椎茸
iroha	イロハ	kudzu	葛	onnagata	女形	shikimi	櫛
janken	ジャンケン	kuge	公家	onsen	温泉	shime-waza	絞技
jigotai	自護体	kura	蔵	origami	折り紙	Shin	真
jinricksha	人力車	Kuroshio	黒潮	orihon	折本	Shingon	真言
Jodo	浄土	kuruma	車	osaekomi waza	抑込み技	Shinkansen	新幹線

Shinshu	真宗	sukiya	数寄屋	tofu	豆腐	ukiyo-e	浮世絵
Shinto	神道	sukiyaki	鋤焼き	togidashi	研出	ura-nage	裏投
shippo	七宝	sumi	墨	tokkin	特金	urushi	漆
shishi	獅子	sumi-gaeshi	隅返	tokonoma	床の間	uta	歌
sho	笙	sumo	相撲	tonarigumi	隣組み	wabi	侘
shochu	焼酎	sumotori	相撲取り	tori	取	waka	和歌
shogi	将棋	sun	寸	torii	鳥居	wakame	ワカメ
shogun	将軍	surimono	摺物	tsuba	鏝	wakizashi	脇差し
shoji	障子	sushi	寿司	tsubo	坪	wasabi	山葵
shosagoto	所作事	tabi	足袋	tsugiashi	継足	washi	和紙
shosha	商社	tachi	大刀	tsukemono	漬物	yakitori	焼き鳥
Shotokan	松濤館	tai	鯛	tsukuri	作り	yakuza	やくざ
Showa	昭和	taiko	太鼓	tsunami	津波	Yamato-e	大和絵
shoyu	醤油	tai-otoshi	体落	tsurikomi	釣込	yashiki	屋敷
shubunkin	朱文金	tai-sabaki	体捌	tsutsumu	包む	yen	円
shugo	守護	Taisho	大正	tycoon	大君	yoko-shiho-gatame	横四方固
shunga	春画	takamakie	高蒔絵	uchimata	内股	yokozuna	横綱
shuriken	手裏剣	tamari	溜	uchiwa	団扇	Yoshiwara	吉原
shuto	手刀	tan	反	ude-garami	腕搦	yugen	幽玄
sika	鹿	tanka	短歌	ude-gatame	腕固め	yukata	浴衣
skosh	少し	tansu	箆筥	udon	うどん	yuzen	友禅
soba	蕎麦	tanto	短刀	uguisu	鶯	zabuton	座布団
sudoku	鼠毒	tatami	畳	uji	氏	zaibatsu	財閥
Soka Gakkai	創価学会	tempo	天保	ujigami	氏神	zaikai	財界
sokaiya	総会屋	tempura	テン普拉	uke	受	zazen	座禅
soroban	算盤	Tendai	天台	ukemi	受け身	Zen	禅
soshi	壮士	tenko	点呼	uki	浮	zendo	禅堂
Soto	曹洞	teppan-yaki	鉄板焼	uki-gatame	浮固め	Zengakuren	全学連
sugi	杉	teriyaki	照焼	uki-otoshi	浮落	zori	草履
suiboku	水墨	to	斗				(以上330語)

f. Jap/Perh. f. Jap. の単語 地名に由来

hooch	内	akita	秋田	Hashimoto	橋本策 (橋本病と関連)
itzebu	一分	Arita	有田	Ishihara	石原忍
kainic	カイニン酸	Hirado, Hirato	平戸	Kakiemon	柿右衛門
Nipponese	日本+ese	Hizen	肥前	Kikuchi	菊地正士
rishitin	リシチン	Imari	伊万里	Korin	尾形光琳
romanas rose	浜茄子	Kurume	久留米	Nichiren	日蓮
rotenone	ロテノン	Kutani	九谷	Okazaki	岡崎令治
rumaki	(春)巻	Minamata disease	水俣病	Shibayama	柴山
Ryukyuan	琉球+an	Nara	奈良	Shiga	志賀潔
soy	醤油	Okinawan	沖縄+an	Suzuki	鈴木
(以上10語)		Ryukyu	琉球	Tojo	東条英機
		satsuma	薩摩	Tokugawa	徳川家康
		Sendai	仙台	Tosa	土佐 (土佐派画家たち)
		Seto	瀬戸	Yagi	八木秀次
		shimada	島田	Yukawa	湯川秀樹
		Tokyoite	東京+ite	(以上15語)	
		Tosa	土佐		
		Yayoi	弥生		
		Yeddo	江戸		
		Yokohama	横浜		
		(以上20語)			

(1997年5月6日受理)